

**NSG**

**GROUP**

**第155期定時株主総会  
日本板硝子株式会社**

# 株主様へのお願い



**新型コロナウイルス感染防止の観点から、場内ではマスクを常時ご着用ください。**

**携帯電話は電源を切るか、マナーモードにさせていただきご使用はお控えください。**

**カメラやビデオ、各種機器の会場内でのご使用、撮影、録画、録音等につきましてお断りしております。**

**何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。**

**第155期定時株主総会**  
**日本板硝子株式会社**

# 監查報告

# 報告事項

**1.事業報告**

**2.連結計算書類**

**3.計算書類**

# 事業の経過及びその成果

# 事業の経過及びその成果

## 当期の当社グループ主要地域の事業環境

- 第1四半期において、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による、著しい需要減少の影響を受ける
- 外出制限が緩和されはじめた6月以降、需要は急速に立ち直り、回復基調が当期末にかけて継続
- 第4四半期においては、地域によってワクチン接種の広がりや外出制限の緩和により、消費者マインドが改善
- 新型コロナウイルスの感染者が依然として多い地域では、各国政府による感染防止措置が取られたが、工場の生産活動を制限するまでには至らず、当社の生産活動も継続

# 事業の経過及びその成果

## 建築用ガラス市場

- 6月以降、欧州や南米を中心に需要が堅調
- 太陽電池パネル用ガラス需要は新型コロナウイルス感染拡大の影響をほぼ受けることなく、引き続き堅調に推移

## 自動車用ガラス市場

- 年度初めの落ち込みから急速に回復
- 第3四半期以降は前期レベルを上回るが、多くの地域で自動車メーカーが半導体部品不足の影響を受ける

## 高機能ガラス市場

- 相対的に新型コロナウイルス感染拡大による影響は小

# 当社グループの当期の業績

売上高	4,992億24百万円	前期比 10.2%減
営業利益 <sup>*1</sup>	130億67百万円	前期比 38.3%減
親会社の所有者に 帰属する 当期利益	△169億30百万円	前期比 (-)

\*1 個別開示項目前ベースの営業利益

(注)個別開示項目費用：新型コロナウイルス感染症関連費用、コスト構造改革に伴うリストラクチャリング費用、日本国内の有形固定資産の売却譲渡益等を含め、累計214億円を計上

# 対処すべき課題

# NSGグループ経営指針 「Our Vision」

使命「快適な生活空間の創造で、より良い世界を築く」



# NSGグループ「中期ビジョン」



NSGグループの「使命」を実現するべく、グループの進むべき方向性として

高付加価値の「ガラス製品とサービス」で社会に貢献するグローバル・ガラスメーカーとなる

# NSGグループ「中期ビジョン」

## ・ 目指すべき貢献領域

### ① 快適空間の創造

- 快適で安全・健康な「人にやさしい生活空間」を創造する

### ② 地球環境の保護

- 再生可能エネルギーの活用拡大や冷暖房負荷の軽減などを通して「地球にやさしい環境」を創造する

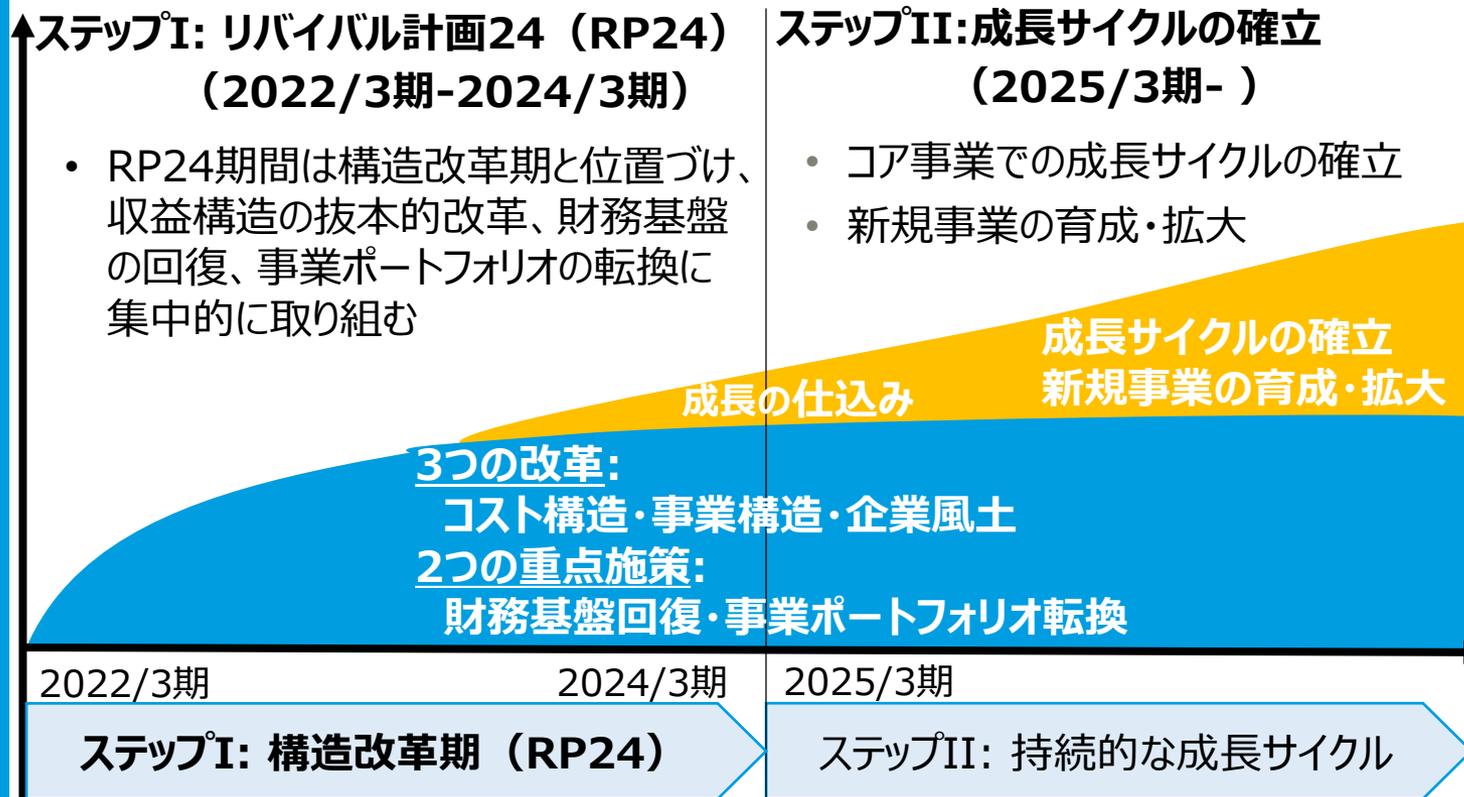
### ③ 情報通信分野

- 人々の暮らしをより便利にし、社会の進化をささえる情報通信関連分野に貢献する

## ・ 企業の「ありたい姿」

- 常に変革に挑戦し、やり抜き結果を出す企業グループであり続ける
- 事業活動を通じて、従業員が「成長」し、「働く喜び」を得られる企業グループであり続ける

# 「中期ビジョン」実現のためのロードマップ



NSGグループの  
中期ビジョン

高付加価値の  
「ガラス製品と  
サービス」で社  
会に貢献する  
グローバル・  
ガラスメーカー

# 「リバイバル計画24」の基本方針

## ■対象期間

➤ **2022年3月期～2024年3月期（3年間）**

## ■前中期経営計画（MTP）の振り返り

➤ **「VAガラスカンパニーへの変容・変革」に着手**

※VA：Value-Addedに由来し、高付加価値を意味

➤ **固定費が高く、市況変動に左右されやすい事業構造の十分な変革には至らず**

## ■リバイバル計画24（RP24）の基本方針

➤ **構造改革期と位置付け、収益構造の改革、財務基盤の回復、事業ポートフォリオの転換に集中的に取り組み、抜本的・本質的な施策を完遂する**

# 当社グループを取り巻く経営環境

- 新興国ガラスメーカー参入による製品汎用品化と競争激化が進行
- ガラス製造工程から排出の温室効果ガス削減は重要な経営課題
- 高機能なガラスに対するニーズの高まり

## 建築用ガラス分野

- ・自然エネルギー活用の拡大に伴う省エネ・創エネガラスの需要拡大
- ・健康・衛生維持に貢献する製品ニーズの増加

## 自動車用ガラス分野

- ・100年に一度といわれる自動車分野での技術革新「CASE」対応製品への期待の高まり

## 「コロナ後の世界」の人々の生活や働き方

- ・デジタルトランスフォーメーションが進み、大きく変化
- ・ライフサイエンス分野、IoT・クラウド分野でのガラスへの期待のより一層の拡大



# RP24:構造改革の狙いと主要施策

<p><b>構造改革 の狙い</b></p>	<p>3つの改革と2つの重点施策を断行し、 持続的成長が果たせる強い事業体質を構築</p>		
<p><b>主要施策</b></p>	<p>3つの改革</p>		
	<p><b>コスト構造改革</b></p> <p>コスト削減 生産性向上</p>	<p><b>事業構造改革</b></p> <p>高付加価値事業の拡大 新規成長分野の育成 投資・資産効率重視</p>	<p><b>企業風土改革</b></p> <p>変革に挑戦し、 やり抜き結果を出す 組織への改革</p>
	<p>2つの 重点施策</p>	<p>財務基盤の回復</p>	
	<p>高収益事業へのポートフォリオ転換</p>		

# RP24財務目標（2024年3月期）

3つの改革と2つの重点施策の遂行により、2024年3月期に次の財務目標達成を目指す。

	2024年3月期 目標
営業利益率 <sup>*1</sup>	8 %
純利益 <sup>*2</sup>	3年累計 300億円以上
自己資本比率	10%以上
フリーキャッシュフロー	100億円以上

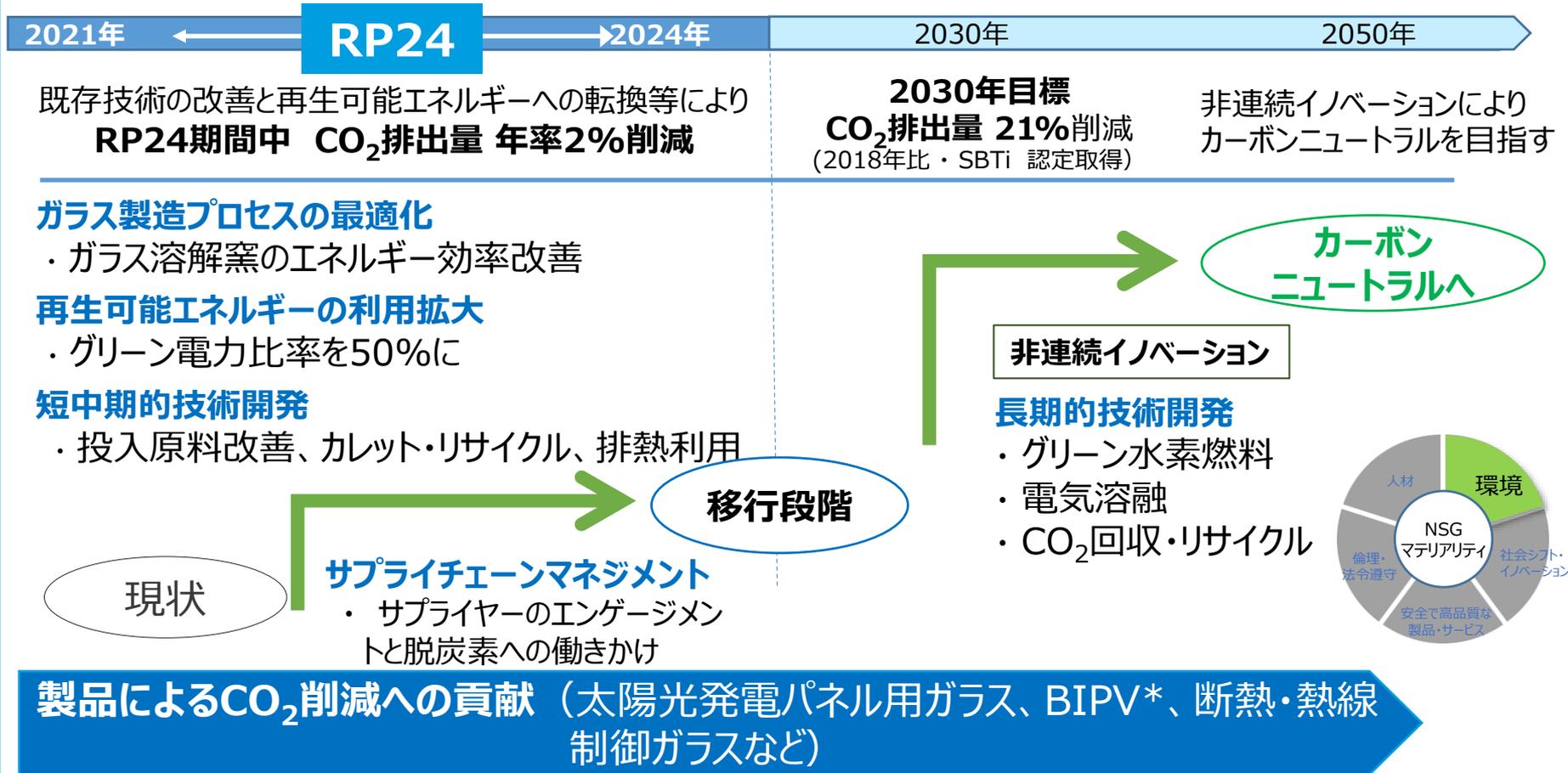
\*1 無形資産償却後営業利益率

\*2 親会社の所有者に帰属する当期損益


 安定的にフリーキャッシュフローが創出できる事業体質へ  
 純利益を継続的に積み増し、自己資本比率10%以上への早期回復へ

# サステナビリティへの取り組み

## カーボンニュートラルへのマイルストーン



\* BIPV: 建物一体型太陽光発電

- **事業報告（その他）** **15頁～47頁**

  - その他の当社グループの現況に関する事項
  - 株式に関する事項
  - 剰余金の配当等の決定に関する方針
  - 新株予約権等に関する事項
  - 役員に関する事項
  - 会計監査人の状況
  - コーポレートガバナンスの状況
- **第155期連結計算書類** **48頁～51頁**
- **第155期計算書類** **52頁～54頁**

# 第155期定時株主総会 日本板硝子株式会社

# 決議事項

## 議案 取締役6名選任の件

招集ご通知 5ページから 12ページ

# 議案 取締役6名選任の件

**木本 泰行**

(社外取締役候補者)

**石野 博**

(社外取締役候補者)

**森 重樹**

**皆川 邦仁**

(社外取締役候補者)

**ヨーク・ラウパッハ・スミヤ**

(Jörg Raupach Sumiya)

(社外取締役候補者)

**黒井 義博**

(社外取締役候補者)

# 質疑応答

# 事前にいただきましたご質問

- **なぜ総会のLive配信を行わないのか？**

**ご質問の際は、**

**・マスクご着用のまま**

**・お手許の受付票番号、お名前をおっしゃって**

**ご質問くださいますようお願いいたします。**

**ご質問終了後は、お席にお戻りください。**

# 議案 取締役6名選任の件

**木本 泰行**

(社外取締役候補者)

**石野 博**

(社外取締役候補者)

**森 重樹**

**皆川 邦仁**

(社外取締役候補者)

**ヨーク・ラウパッハ・スミヤ**

(Jörg Raupach Sumiya)

(社外取締役候補者)

**黒井 義博**

(社外取締役候補者)

**第155期定時株主総会**  
**日本板硝子株式会社**

**NSG**

**GROUP**